

操作マニュアル

マルチメディア授業支援システム

オーサリングソフト

品番 WE-AS870A

もくじ

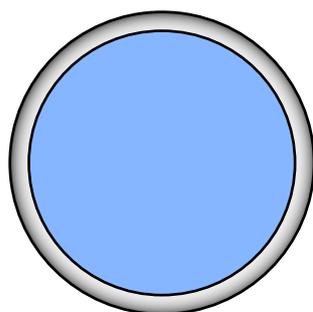
はじめに	3
第1章 教材作成の流れ	8
第2章 起動／終了	13
第3章 音声教材の新規作成	19
第4章 音声教材の編集	33
第5章 WBT型教材の作成（基本操作）	56
第6章 WBT型教材の編集	86
第7章 WBT型教材の作成（応用）	94
第8章 教材のアップロード／ダウンロード..	122
付録	137

はじめに

本書で説明するソフトウェアは、使用許諾契約書に基づいて提供され、その内容に同意する場合のみ使用することができます。本書に記載された内容は、情報の提供のみを目的としており、予告なしに変更されることがあります。また、本書には正確な情報を記載するように努めましたが、誤りや不正確な記述があった場合にも、松下電器産業株式会社 (Matsushita Electric Industrial Co., Ltd.) はいかなる責任、債務も負わないものとします

商標および登録商標について

- L3 Stagemは、松下電器産業株式会社の商標です。
- PERSONAL SURROUNDは、松下電器産業株式会社の登録商標です。
- Adobe®、Adobeロゴ、Acrobat® Reader®は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の商標です。
- Microsoft®、Windows®およびWindowsロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他の会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。



はじめに

ここでは、マニュアルの見かたと教材を作成する前に準備しておいていただきたいことについて説明します。

もくじ

商品概要	4
本書について	4
本書で使用する用語について	4
略称について	6
教材作成前の準備	7

商品概要

オーサリングソフトWE-AS870Aは、マルチメディア授業支援システム用の教材作成ソフトです。

- AV機器からのアナログ音声を取り込みます。
- 音声データ取り込み時に、自動/手動センテンス分割することができます。
- センテンスに、コメントを付加することができます。
- 音声教材に静止画、動画、テキスト、問題設定、評価設定などを加えたWeb利用の教材を作成することができます。
- アナライザー自動進行用の音声教材を作成することができます。
- 教材をサーバーに登録したり、任意のフォルダーにダウンロードしたりすることができます。
- 動画教材を利用することができます。評価機能、アップロード/ダウンロード機能を使用することができます。

＼注意＼

新しいバージョンのオーサリングソフトウェアで作成された教材を古いバージョンのオーサリングソフトウェアで閲覧/編集しようとした場合、一部の教材データが利用できない場合があります。オーサリングソフトウェアはできるだけ最新のバージョンのものをご使用ください。

本書について

本書は、本ソフトの操作方法について説明しています。

本ソフトのインストール方法、環境設定などは、別冊の取扱説明書をお読みください。

なお、本書はシステム管理者、または先生などのパソコン操作に慣れた方を対象に説明しています。

本書で使用している用語について

- | | |
|--------|--|
| WBT型教材 | : 音声教材に静止画、動画、テキスト、問題設定、評価設定などを加えたWeb利用の教材です。オンデマンド開放で、Webブラウザを使って閲覧することができます。 |
| アップロード | : ●教材作成パソコンで作成した教材を、サーバーに登録することです。サーバーに登録することにより、授業で使用することができます。
●外部メディアから教材作成パソコンまたはサーバー、教材作成パソコンからサーバーへ教材をコピーすることができます。 |

穴埋め形式	: 文章内の特定部分をブランクにしておき、そこに適切な文字列を入力させる形式です。ただしこの形式の場合、最適な文字列が単一であるとは限らないため、最大5種類までの正答パターンを設定することができます。入力された文字列に対しては、英文の場合、大文字 / 小文字の区別を行うか否かを設定することができます。
アナライザー教材	: アナライザー自動進行用の音声教材です。問題の選択肢数、正答番号、回答時間などが設定できます。
オーディオサーバー	: 音声教材、アナライザー教材などを登録しておくサーバーです。
音声教材	: 一斉送出、オンデマンド開放で利用できる教材です。
学習者パソコン	: 学習者用のソフトがインストールされたパーソナルコンピュータです。学習者が使用します。
管理パソコン	: ライブラリー管理用のソフトがインストールされたパーソナルコンピュータです。先生が使用します。
記述形式	: ユーザーに自由に記述させる形式で、この形式を選択した場合、採点は行えません。使用できる文字数は最大で半角4 000文字です。正解を設定することはできません。
教材作成パソコン	: オーサリングソフトをインストールして、教材を作成するパーソナルコンピュータです。
サーバー教材	: WBT型教材、アナライザー教材、サーバー音声教材の総称です。
スタイル	: WBT型教材を使用して作成された教材で、一度に表示される画面です。スタイル番号（ページ）は、スタイルの上部（タイトルバー）に表示されます。
スチューデントユニット	: 学習者用の音声入出力ユニットです。ヘッドセットの音量調節などを行います。ライブラリーシステムでは、管理パソコンで使用することもあります。
制御パソコン	: 制御用のソフトがインストールされたパーソナルコンピュータです。先生が使用します。
先生パソコン	: 先生用のソフトがインストールされたパーソナルコンピュータです。先生が使用します。
選択形式	: 選択肢の中から、正答と思われる番号にチェックを入れて回答させる形式です。一つまたは複数の正解を設定することができます。複数の場合はand/orの組み合わせができます。

ダウンロード	: ●サーバーに登録してある教材を、教材作成パソコンにコピーすることです。サーバーの教材は教材作成パソコンにコピーすることにより、編集することができます。 ●サーバーから教材作成パソコンまたは外部メディア、教材作成パソコンから外部メディアへ教材をコピーすることができます。
ティーチャーユニット	: 先生用の音声入出力ユニットです。ヘッドセットの音量調節などを行います。
判定方法 (and/or)	: orは、複数の正解設定された内容のうち、いずれかに適合した場合を正解とし、andは設定された内容全てに適合した場合を正解とします。この設定は、選択形式にのみ使用することができます。
ビデオサーバー	: WBT型教材の動画ファイルを登録しておくサーバーです。
評価設定内容	: 評価領域に設定されている内容を一覧表示します。
評価領域	: 配点可能な問題を作成する領域です。
ファイル配信サーバー	: ファイルの配布や回収を行うサーバーです。 また、WBT型教材も登録します。
プロセッサユニット	: AV機器からの教材送出や音声コミュニケーションを行うためのユニットです。
マッチタイプ	: 対象の文字列が指定した単語と一致した場合、その単語に含まれる文字がそれぞれ大文字か小文字の区別を行うか否かを設定することができます。

略称について

本書では、米国Microsoft Corporationの各製品を下記のように表記しています。

- ・ Microsoft Windows XP Professional日本語版 : Windows XP
- ・ Microsoft Windows 2000 Professional日本語版 : Windows 2000

また、上記製品のうちいくつかに関して共通の説明を記載している箇所では、これらをまとめてWindowsと表記しています。

教材作成前の準備

教材を作成する前に、本ソフトのインストール、環境設定が必要です。
また、本ソフトを使用して教材を作成するために必要な機器の接続・設定を行ってください。
詳しくは、別冊の取扱説明書をお読みください。



教材作成の流れ

ここでは、教材の作成の流れについて説明します。

もくじ

教材について	9
各教材について	9
作成した教材を運用する	9
サーバー上の教材について	9
教材の管理方法	9
教材作成の流れ	10
音声教材作成の流れ	10
WBT型教材作成の流れ	11
評価問題付き教材作成の流れ	12

教材について

教材は、本ソフトをインストールしてあるパソコン（以下、教材作成パソコン）で作成します。

各教材について

教材には、音声教材、アナライザー教材、WBT型教材があります。

- 音声教材 : AV機器から取り込んだアナログ音声に、センテンス分割などを行った教材
- アナライザー教材 : 音声教材に、問題設定を行った自動進行用の教材
- WBT型教材 : Webを利用する静止画、動画、テキスト、問題、評価、音声教材を組み合わせた教材

作成した教材を運用する

教材作成パソコンで作成した教材は、オーディオサーバー、ファイル配信サーバー、ビデオサーバー（以下、サーバー）に登録する必要があります。

サーバー上の教材について

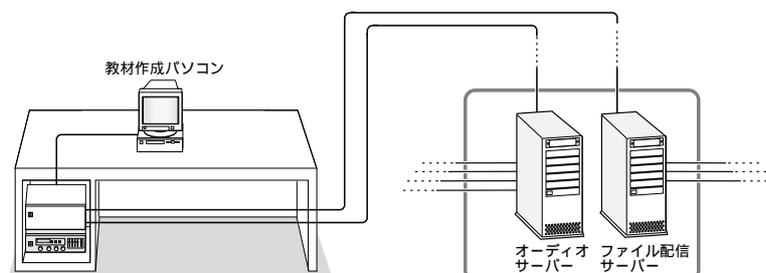
サーバーに登録された教材を、直接編集することはできません。編集する教材を、教材作成パソコンにダウンロード（保存）し、編集します。編集作業が終了したら、サーバーにアップロード（登録）します。

＼注意＼

- サーバーへアップロードしたり、サーバーの教材を削除する場合は、授業/ライブラリー学習が行われていないことを確認してから行ってください。
- 教材作成/編集中にマニュアルを開く場合は、必ず教材を保存してから行ってください。

教材の管理方法

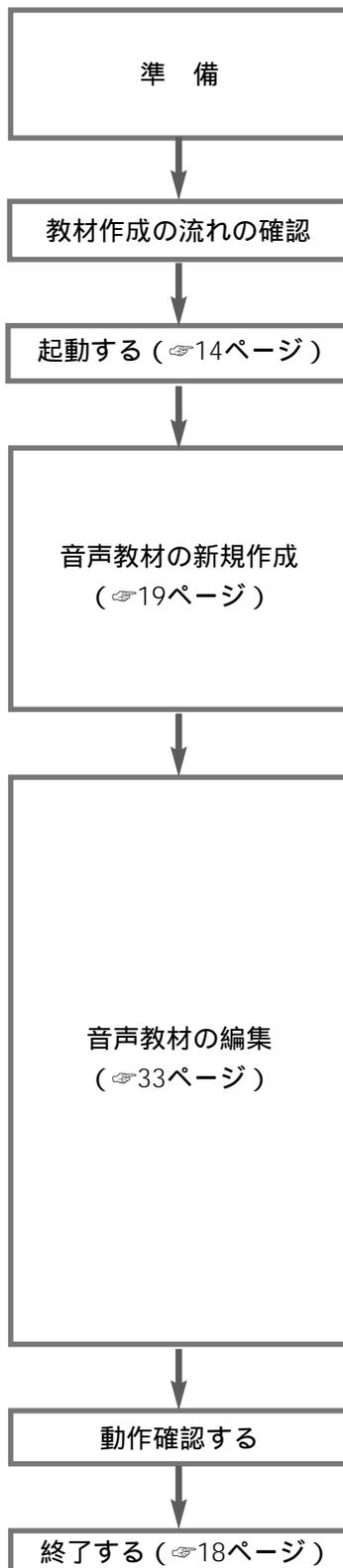
教材は、ログイン時に入力されたユーザーごとに管理されます。従って、他のユーザーが作成した教材を参照、編集することはできません。また、教材は個別IDで管理されますので、同一の教材名を使用することができます。外部メディアから教材作成パソコン、またはサーバーへアップロードする場合、他のユーザーが作成した教材であっても、現在ログインしているユーザー名に変更されます。



教材作成の流れ

本ソフトでの教材作成の流れを以下に示します。
本書も、この順番にそって説明しています。

音声教材作成の流れ



- 本ソフトのインストール、環境設定を行います (☞本ソフトに付属の取扱説明書)
- 教材作成に必要な機器の接続・設定を行います。

教材作成の流れを確認します。

本ソフトを起動します。

音声教材を作成します。

- 1.メニューを選択する (☞20ページ)
- 2.使用するAV機器を選択する (☞21ページ)
- 3.センテンスの分割モードを設定する (☞26ページ)
- 4.教材の保存 / 登録先を選択する (☞27ページ)
- 5.音声を取り込む (☞29ページ)
- 6.取り込んだ音声を保存 / 登録する (☞31ページ)

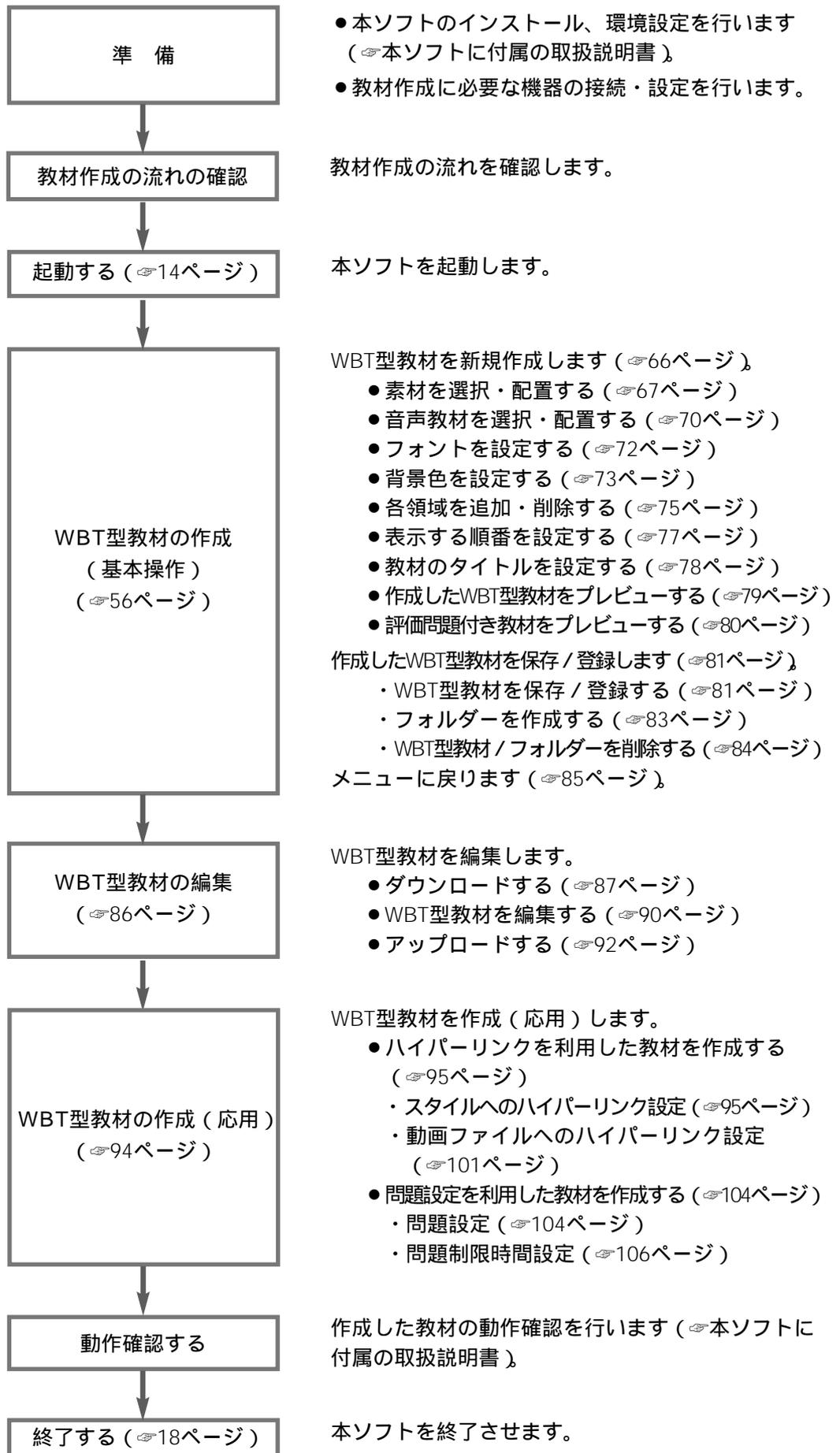
音声教材を編集します。

- 音声教材を選択する (☞36ページ)
- ダウンロードする (☞37ページ)
- 音声教材を編集する
 - 1.レッスンを分割する (☞39ページ)
 - 2.センテンスを分割する (☞41ページ)
 - 3.波形表示時間を設定する (☞43ページ)
 - 4.ポーズ時間を設定する (☞44ページ)
 - 5.ポーズを挿入する (☞45ページ)
 - 6.切り取り / コピー / 貼り付け / 削除 / 結合する (☞46ページ)
 - 7.名称変更する (☞49ページ)
 - 8.コメントを入力する (☞50ページ)
 - 9.問題を設定する (☞52ページ)
- アップロードする (☞54ページ)

作成した教材の動作確認を行います (☞本ソフトに付属の取扱説明書)

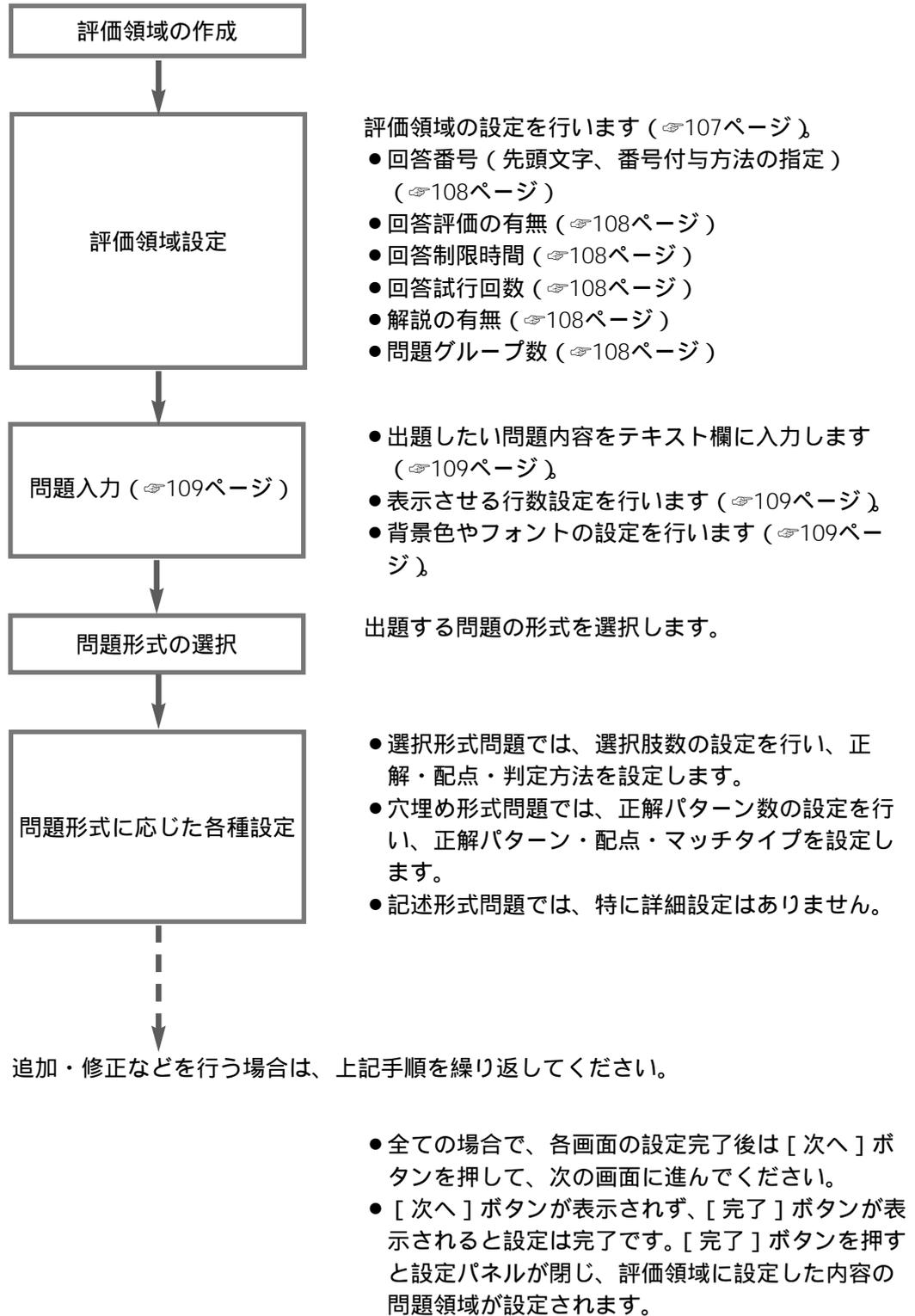
本ソフトを終了させます。

WBT型教材作成の流れ



評価問題付き教材作成の流れ

評価問題付き教材作成の流れを以下に示します。





起動 / 終了

ここでは、オーサリングソフトの起動 / 終了のしかたについて説明します。

もくじ

起動する	14
制御パソコン 制御ソフトからの起動方法	14
本ソフト単独での起動方法	15
ユーザー名とパスワードを入力する	16
メニューを選択する	17
終了する	18
制御パソコンでの終了方法	18
本ソフト単独での終了方法	18

起動する

本ソフトの起動には、次の2通りがあります。使用環境に合わせて起動してください。

- ・制御パソコン 制御ソフトからの起動方法
- ・本ソフト単独での起動方法

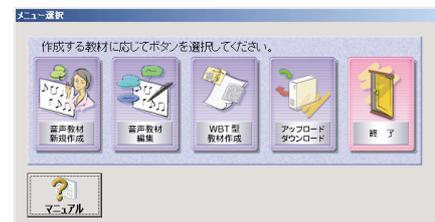
制御パソコン 制御ソフトからの起動方法

1. 制御パソコン 制御ソフトのトップメニューで [オーサリングツール] を押します。
(システムソフトに付属の取扱説明書をご参照ください)
起動画面が表示されたあと、メニュー選択画面が表示されます。

図 起動画面



図 メニュー選択画面



本ソフト単独での起動方法

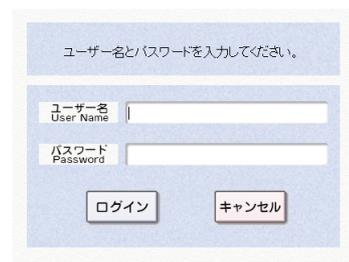
1. Windowsの[スタート]メニューから「プログラム」 「L3Stage」 「オーサリングソフト」を選択します。または、デスクトップ上の「オーサリングソフト」をダブルクリックします。

起動画面が表示されたあと、認証画面が表示されます。

図 起動画面



図 認証画面



ユーザー名とパスワードを入力する

本システムでは、ユーザー（先生）の認証を行います。

ただし、制御パソコン システムソフトから起動した場合は、システムソフト側で認証済みのため、本ソフト起動時には、認証画面は表示されません。

ユーザー名とパスワードは、システムソフト側で登録します（システムソフトに付属の取扱説明書をご参照ください）。

1. あらかじめ登録してあるユーザー名とパスワードを入力します。
 - 認証画面は、本ソフト単独での運用時に限り、表示されます。

図 認証画面

＼エラーメッセージについて＼

ネットワークに未接続の状態でも本ソフトを起動した場合、エラーメッセージが表示されます。この状態で起動すると、サーバーへのアクセスを必要とする機能は使用できません。

2. [ログイン] ボタンを押します。

メニュー選択画面が表示されます。ユーザー名とパスワードを入力後に、[Enter] キーを押しても同様にメニュー選択画面が表示されます。

[キャンセル] ボタン

: Windows画面（デスクトップ）に戻ります。

＼ユーザー名またはパスワードを間違えると＼

ユーザー名またはパスワードを間違えると、認証エラー画面が表示され、3回まで再入力できます。正しいユーザー名とパスワードを入力し直してください。

4回間違えると、認証拒否画面が表示されます。[OK] ボタンを押すと、Windows画面（デスクトップ）に戻ります。

図 認証エラー画面

図 認証拒否画面

メニューを選択する

1. メニュー選択画面で、選択するメニューのボタンを押します。
 - ・音声教材新規作成
音声データを取り込み、音声教材を作成します。
 - ・音声教材編集
作成した音声教材を編集します。
 - ・WBT型教材作成
音声教材、静止画、テキスト、問題設定などを加えたWeb利用のWBT型教材を作成、編集します。
 - ・アップロード/ダウンロード
作成した教材をサーバーに登録したり、サーバーに登録された教材を任意のフォルダーにコピーします。

図 メニュー選択画面



[マニュアル] ボタン

- : Acrobat Readerが起動し、本操作マニュアルが表示されます。
マニュアルを閉じるときは、Acrobat Readerを終了します。

終了する

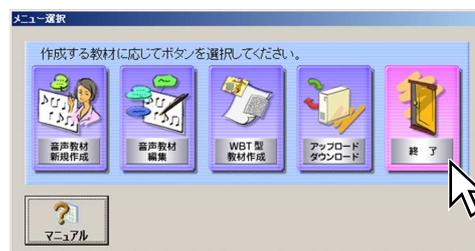
本ソフトの終了には、次の2通りがあります。起動環境に合わせて終了してください。

- ・制御パソコンでの終了方法
- ・本ソフト単独での終了方法

制御パソコンでの終了方法

1. メニュー選択画面で、[終了] ボタンを押します。

図 メニュー選択画面



制御パソコン 制御ソフトのトップメニューに戻ります。

本ソフト単独での終了方法

1. メニュー選択画面で、[終了] ボタンを押します。

Windows画面（デスクトップ）に戻ります。



音声教材の 新規作成（基本操作）

ここでは、音声教材の作成のしかたについて説明します。

もくじ

メニューを選択する	20
使用するAV機器を選択する	21
制御パソコン システムソフトからの起動時	22
本ソフト単独での起動時	25
センテンスの分割モードを設定する	26
音声教材の保存 / 登録先を選択する	27
音声を取り込む	29
取り込んだ音声を保存 / 登録する	31

メニューを選択する

1. メニュー選択画面で、[音声教材新規作成] ボタンを押します。
AV機器選択画面が表示されます。

図 メニュー選択画面

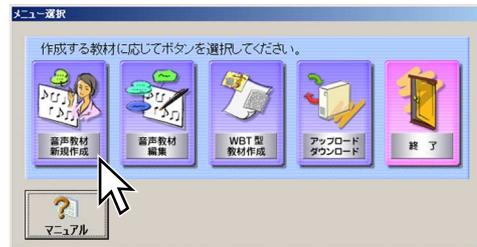


図 AV機器選択画面

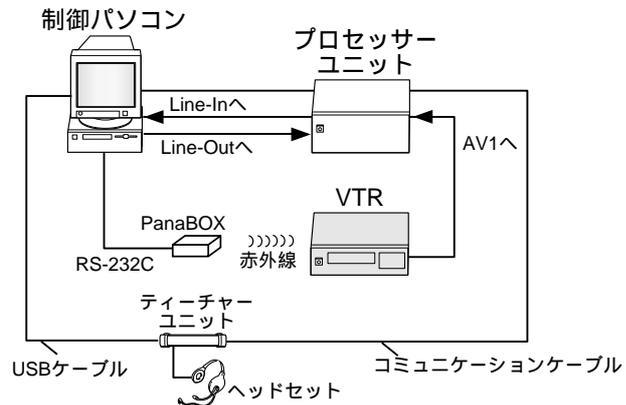


使用するAV機器を選択する

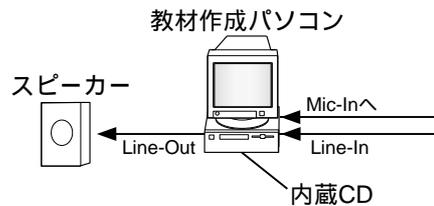
音声を取り込むAV機器を選択します。マイクは、その他のAV機器からの音声にミキシングすることができます。AV機器選択画面で、各項目を設定します。

本ソフトの運用状況によって、AV機器の動作が異なります。

- ・制御パソコン システムソフトからの起動時
 - AV機器の制御.....可
 - マイク音声多重可
 - 内蔵CD-ROMドライブの制御可



- ・本ソフト単独での起動時
 - AV機器の制御.....不可
 - マイク音声多重不可
 - 内蔵CD-ROMドライブの制御可



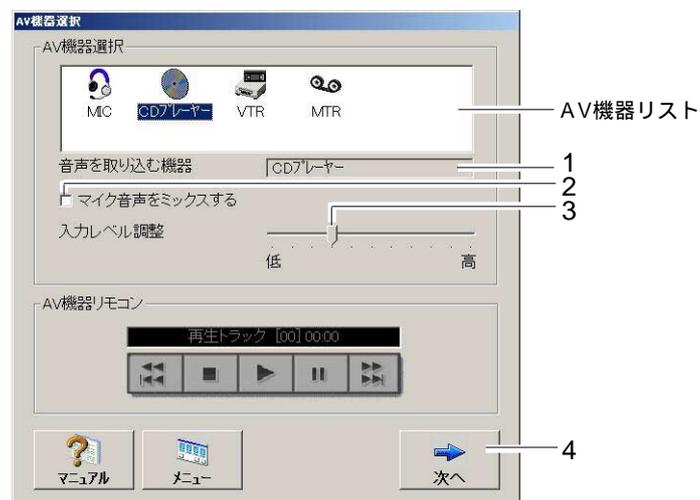
＼パソコン内蔵DVDドライブ使用時について＼
 音楽用CDのみ再生可能です。

＼WindowsXPで内蔵CDドライブから音声を取り込む場合＼
 WindowsXPをご使用の場合、CDドライブの設定をアナログ用に変更する必要があります。詳しくは、23ページをお読みください。

制御パソコン システムソフトからの起動時

1. 音声を取り込む機器を選択します。
 - AV機器リストから、AV機器を選択します。
2. マイクを多重する場合は、“マイク音声をミックスする”をクリックしてチェックを入れます。
3. ボリュームコントロールを操作して、AV機器からの入力レベルを調節します。
ただし、マイクの入力レベルは、本システムのティーチャーユニット側で調節します。
4. [次へ] ボタンを押すと、センテンス分割モード画面が表示されます。

図 AV機器選択画面



[メニュー] ボタン

：メニュー選択画面に戻ります。

[マニュアル] ボタン

：操作マニュアルが表示されます。

注意

- ・「再生トラック」表示は、お使いのパソコン内蔵CD-ROMドライブを操作する場合のみ有効となります。他のAV機器を操作している場合は、有効ではありません。
- ・お使いのパソコン内蔵CD-ROMドライブによっては、AV機器リストから“CDプレイヤー”を選択しても、[PLAY] ボタン  が使用可能状態にならない場合があります。

その場合は、一度CDを入れ直してから、選択し直してください。

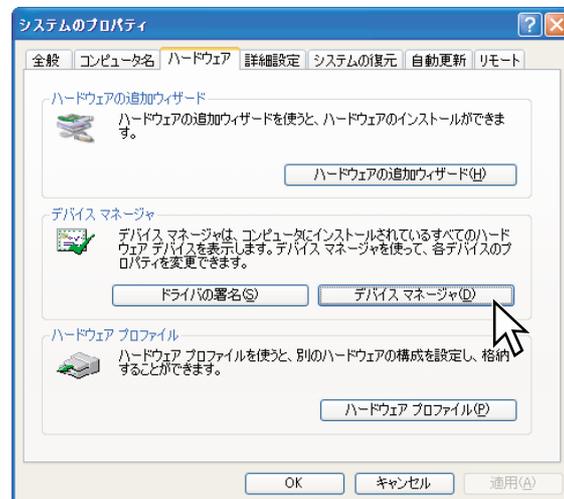
それでも復旧しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

- ・「再生トラック」表示は、パソコン内蔵CD-ROMドライブの種類、使用するCDによっては、正常に表示されない場合があります。その場合は、Line-InへAV機器を接続してからご利用ください。
- ・お使いのパソコン内蔵CD-ROMドライブによっては、“CDプレーヤー”再生時に正常に動作しない場合があります。また、WindowsXPをご使用の場合は、以下の手順に従って、CD-ROMドライブの設定を行ってください。

ㄨ WindowsXPで内蔵CDドライブを使用して音声を取り込む場合ㄨ
WindowsXPでは、内蔵ドライブの設定を変更する必要があります。

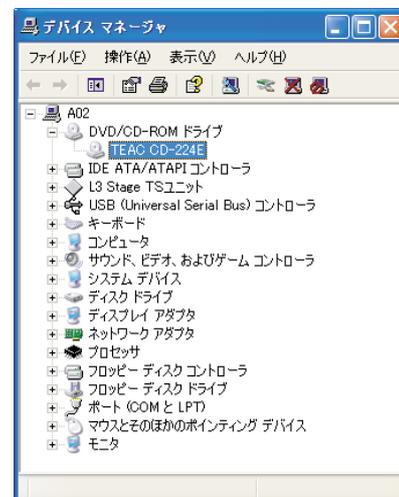
1. Windowsのコントロールパネルから「システム」のプロパティを開きます。
2. 「ハードウェア」タブを開き [デバイスマネージャ] ボタンを押します。

図 システムのプロパティ



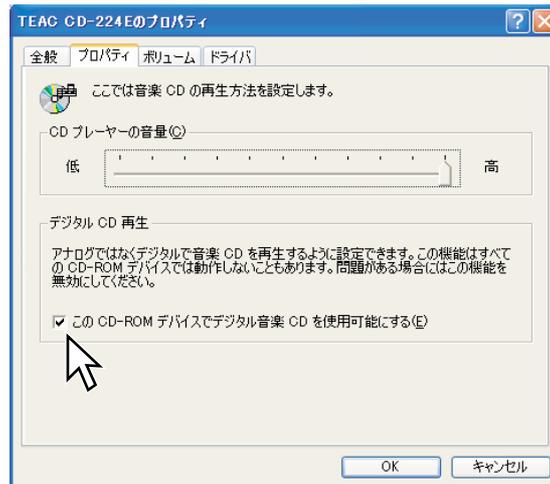
3. デバイスマネージャでCD-ROMドライブを選択し、右クリックメニューから「プロパティ」を選択します。

図 デバイスマネージャ



4. CD-ROMのプロパティ画面で「プロパティ」タブを選択し、 “このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする” チェックを外します。
[OK] ボタンを押して設定を確定します。

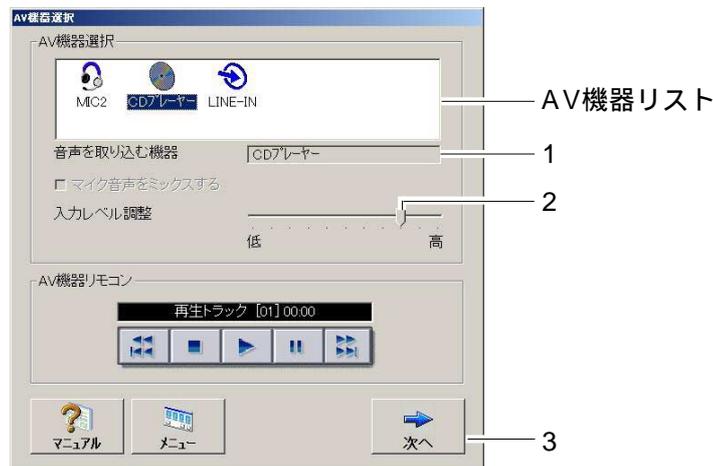
図 CD-ROMのプロパティ画面



本ソフト単独での起動時

1. 音声を取り込む機器を選択します。
 - AV機器リストから、AV機器を選択します。
2. ボリュームコントロールを操作して、AV機器からの入力レベルを調節します。
3. [次へ] ボタンを押すと、センテンス分割モード画面が表示されます。

図 AV機器選択画面



[メニュー] ボタン

：メニュー選択画面に戻ります。

[マニュアル] ボタン

：操作マニュアルが表示されます。

＼WindowsXPで内蔵CDドライブから音声を取り込む場合＼

WindowsXPをご使用の場合、CDドライブの設定をアナログ用に変更する必要があります。詳しくは、23ページをお読みください。

＼ライブラリー管理パソコンでご利用になる場合＼

管理パソコンにスチューデントユニットを接続してご利用になる場合、Line-Inを選択し、“マイク音声をミックスする”をチェックすることでマイク音声を多重することができます。

＼注意＼

「再生トラック」表示は、パソコン内蔵CD-ROMドライブの種類、使用するCDによっては、正常に表示されない場合があります。その場合は、Line-InへAV機器を接続してからご利用ください。

センテンスの分割モードを設定する

音声取り込み時の、センテンス分割モードを設定します。
センテンス分割設定画面で、各項目を設定します。

1. 音声取り込み時のセンテンス分割モードの指定は、 をクリックして●チェックを入れ、指定します。
 - “自動分割” 画面上の右表示エリア内の設定値に近い自動分割処理を行います。
 - “手動分割” 手動で分割ポイントを指定します。
 - “分割無し” 分割を行いません。
2. [自動分割]に指定した場合は、無音検出時間を指定します。
取り込んだ音声データをセンテンスに分割するための無音検出時間“0.5秒”“1.0秒”“1.5秒”を指定します。
無音検出時間が短いほど、細かいセンテンスに分割されます。
3. [次へ]ボタンを押すと、保存 / 登録先指定画面が表示されます。

図 センテンス分割設定画面



[戻る]ボタン

: AV機器選択画面に戻ります。

[メニュー]ボタン

: メニュー選択画面に戻ります。

[マニュアル]ボタン

: 操作マニュアルが表示されます。

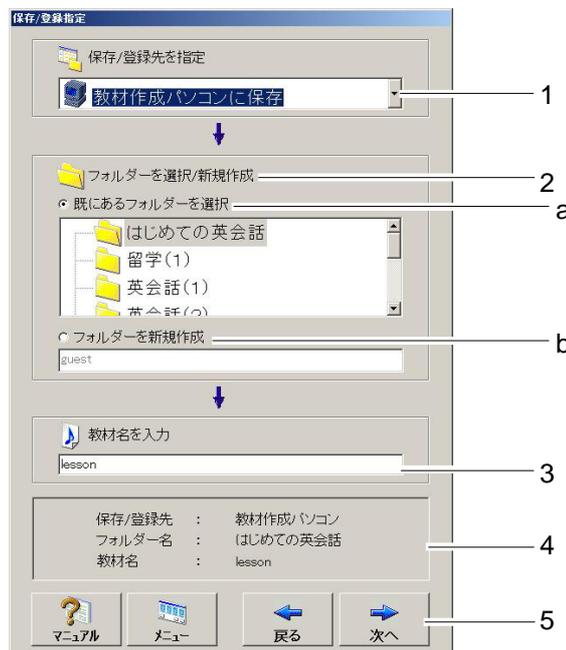
音声教材の保存 / 登録先を選択する

取り込む音声教材の保存 / 登録先、教材名の入力を行います。
保存 / 登録先指定画面で、各項目を設定します。

1. 音声教材の保存 / 登録先を指定します。
 - “教材作成パソコンに保存する” ... 本ソフトを使用中のパソコンに保存されます。
 - “サーバーに登録する” サーバーに登録されます。
2. (a) 既にあるフォルダーを選択する場合、「既にあるフォルダーを選択」の をクリックして●チェックを入れます。1で指定した保存 / 登録先にある既存フォルダーが表示されますので、フォルダー名をクリックすると、選択できます。

(b) 新規フォルダーを作成する場合、「フォルダーを新規作成」の をクリックして●チェックを入れ、指定します。フォルダー名を入力します。
初期設定フォルダー名：認証画面で入力した「ユーザー名」
文字数：全角10文字（半角20文字）以内
使用不可の文字：¥/;:*? "<> | &（半角）
3. 指定したフォルダー内（上記 a または b）に作成する教材名を入力します。
初期設定教材名：「Lesson」
文字数：全角10文字（半角20文字）以内
使用不可の文字：¥/;:*? "<> | &（半角）
4. 上記1～3で設定した内容が表示されます。
5. [次へ] ボタンを押すと、音声取り込み画面が表示されます。

図 保存 / 登録先指定画面



[戻る] ボタン

：AV機器選択画面に戻ります。

[メニュー] ボタン

：メニュー選択画面に戻ります。

[マニュアル] ボタン

：操作マニュアルが表示されます。

＼注意＼

音声取り込み画面から、保存 / 登録先指定画面には戻れません。

保存 / 登録先、教材名などを変更したい場合は、音声教材を作成し、保存 / 登録した後で、「音声教材の編集」で修正を行ってください。

音声を取り込む

取り込みを行う対象として選択したAV機器から、音声を取り込みます。
 音声取り込み画面で、各項目を設定します。

図 音声取り込み画面



図 音声取り込み中画面



1. 取り込み先を確認します。
 音声の取込対象として選択したAV機器名、保存 / 登録先指定画面で指定した保存 / 登録先、フォルダー名、教材名が表示されています。
2. 取り込み可能時間を確認します。
 取込開始からの経過時間（時・分・秒）、教材作成パソコンに取り込み可能な時間が表示されます。
3. ボリュームコントロールを操作して、入力レベルを調節します。
 ただし、音声取り込み中は調節できません。
4. 取り込み開始位置の頭出しを行います。パソコン内蔵CD-ROMドライブの場合、音楽CDのトラック番号と各トラックの先頭からの再生経過時間を表示します。

[REW / SKIP BACK] ボタン 

：内蔵CD-ROMドライブを選択した場合、短く（1秒以内）押すと同じトラックの先頭に、連続して押すと前のトラックに戻ります。1秒以上押し続けると巻き戻しが開始されます。その他のAV機器を選択した場合は、押している時間に関係なく巻き戻しが開始されます。

[STOP] ボタン 

：再生、巻き戻し、早送りを停止します。

[PLAY] ボタン 

：再生します。

[PAUSE] ボタン 

：再生を一時停止します。

[FF / SKIP FORWARD] ボタン 

: 内蔵CD-ROMドライブを選択した場合、短く（1秒以内）押すと、次のトラックの先頭に戻ります。1秒以上押し続けると早送りが開始されます。その他のAV機器を選択した場合は、押している時間に関係なく早送りが開始されます。

5. 取り込みを行います。

[取込開始] ボタン

: 音声の取り込みを開始します。

音声の取り込み中は、メッセージ（音声取り込み中画面）が表示されます。

[マーク] ボタン

: センテンス分割モードを手動分割に指定した場合は、押して分割ポイントを指定します。

[一時停止] ボタン

: 取り込みを一時停止します。再度押すと、取り込みを再開します。

[取込終了] ボタン

: 取り込みを終了し、保存 / 登録確認画面になります。

[メニュー] ボタン

: メニュー選択画面に戻ります。

[マニュアル] ボタン

: 操作マニュアルが表示されます。

＼注意＼

音声取り込みは、数秒程度の余裕をもたせて終了してください。数秒程度の余裕がないと、取込終了間際の音声途切れることがあります。

＼注意＼

WindowsXPをご使用の場合、設定によって内蔵のCD-ROMドライブから音声の取り込みができない場合があります。詳しくは、23ページをお読みください。

取り込んだ音声を保存 / 登録する

取り込んだ音声データを、指定した保存 / 登録先に登録します。
音声取り込み画面で [取込終了] ボタンを押すと、保存 / 登録確認画面になります。

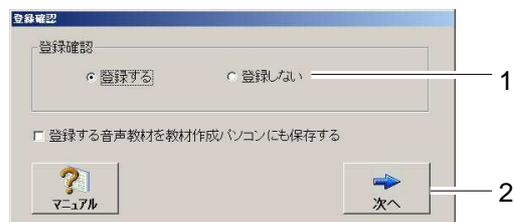
1. 保存 / 登録を、する / しないを選択します。
 - (a) 保存 / 登録先が “ 教材作成パソコンに保存する ” に設定されている場合
保存確認画面が表示されます。
保存する場合は、“ 保存する ” の をクリックして●チェックを入れ、指定します。保存しない場合は、“ 保存しない ” の をクリックして●チェックを入れ、指定します。

図 保存確認画面



- (b) 保存 / 登録先が “ サーバーに登録する ” に設定されている場合
登録確認画面が表示されます。
登録する場合は、“ 登録する ” の をクリックして●チェックを入れ、指定します。登録しない場合は、“ 登録しない ” の をクリックして●チェックを入れ、指定します。
 - 同じ内容を教材作成パソコンにも保存したい場合は、“ 登録する音声教材を教材作成パソコンにも保存する ” をクリックして☑チェックを入れると、サーバーへ登録すると同時に教材パソコンにも保存されます。

図 サーバー登録確認画面



[次へ] ボタン

: 保存 / 登録が開始されます。

[マニュアル] ボタン

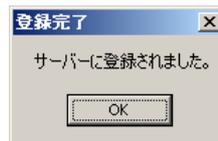
: 操作マニュアルが表示されます。

2. [次へ] ボタンを押すと保存 / 登録されます。
保存 / 登録完了画面が表示されます。

図 保存完了画面



図 登録完了画面



[OK] ボタン

: メニュー選択画面に戻ります。



音声教材の編集

ここでは、音声教材の編集のしかたについて説明します。

もくじ

メニューを選択する	34
音声教材編集画面の見かた	35
音声教材を選択する	36
ダウンロードする	37
レッスンを分割する	39
センテンスを分割する	41
波形表示時間を設定する	43
ポーズ時間を設定する	44
ポーズを挿入する	45
切り取り / コピー / 貼り付け / 削除 / 結合する	46
切り取り / コピー / 貼り付けのしかた	46
削除のしかた	47
結合のしかた	48
名称変更する	49
コメントを入力する	50
問題を設定する	52
アップロードする	54

メニューを選択する

1. メニュー選択画面で、[音声教材編集] ボタンを押します。
音声教材編集画面が表示されます。

図 メニュー選択画面

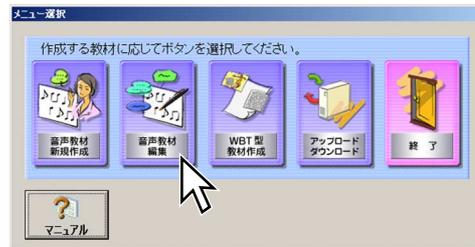


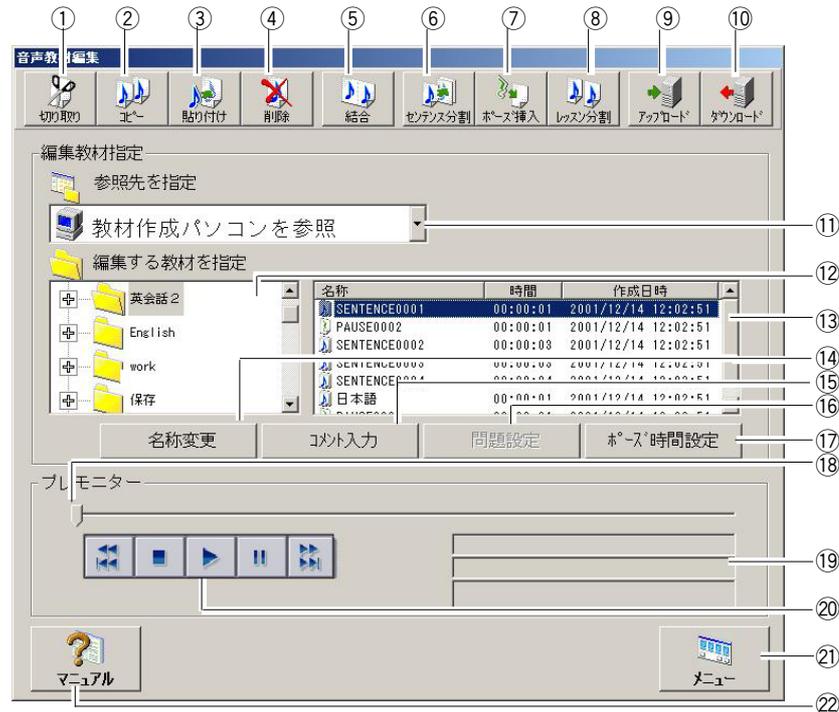
図 音声教材編集画面



音声教材編集画面の見かた

既に保存 / 登録されている音声教材を編集する際に表示する画面です。編集する教材を選択し、レッスン分割 / センテンス分割 / 名称変更 / コメント入力 / ポーズ挿入 / 問題設定などの編集を行うことができます。各ボタンの名前と働きは次の通りです。

図 音声教材編集画面



- ① [切り取り] : 選択したレッスン、センテンス、ポーズを切り取ります。
- ② [コピー] : 選択したレッスン、センテンス、ポーズをコピーします。
- ③ [貼り付け] : 選択したレッスン、センテンス、ポーズを貼り付けます。
- ④ [削除] : フォルダー、レッスン、センテンス、ポーズを削除します。
- ⑤ [結合] : レッスン、センテンス、ポーズを結合します。レッスン、センテンス、ポーズ指定リスト⑬で [ctrl] キーを押しながら結合先をクリックして選択します。
- ⑥ [センテンス分割] : 選択したレッスンをセンテンスに分割します。
- ⑦ [ポーズ挿入] : 選択したセンテンスの後にポーズ（無音）を挿入します。
- ⑧ [レッスン分割] : 選択したレッスンを2つに分割します。
- ⑨ [アップロード] : アップロード画面に移ります。
- ⑩ [ダウンロード] : ダウンロード画面に移ります。
- ⑪ 参照先指定リスト : 編集する教材の参照先を指定します。
- ⑫ フォルダー指定リスト : 編集する教材を指定します。
- ⑬ レッスン、センテンス、ポーズ指定リスト : 編集する教材の教材名・センテンス、ポーズを指定します。
- ⑭ [名称変更] : フォルダー、レッスン、センテンス、ポーズの名称を変更します。
- ⑮ [コメント入力] : センテンスにコメントを入力します。
- ⑯ [問題設定] : 選択されたポーズに対して問題の選択回数（ボタン数）、正答番号を設定します。
- ⑰ [ポーズ時間設定] : 挿入するポーズの時間を設定します。
- ⑱ スライダーバー : レッスンを選択した場合は、右端を再生総時間、センテンスを選択した場合は、センテンスの再生時間とし、現在の再生地点を示すカーソルが移動します。
- ⑲ カウンター/ステータス表示 : 再生開始からの経過時間（時・分・秒・1/10秒）を表示します。
- ⑳ 再生操作ボタン : 音声教材の再生操作を行います（巻き戻し/停止/再生/一時停止/早送り）
- ㉑ [メニュー] : メニュー選択画面に戻ります。
- ㉒ [マニュアル] : 操作マニュアルが表示されます。

音声教材を選択する

編集する音声教材を選択します。

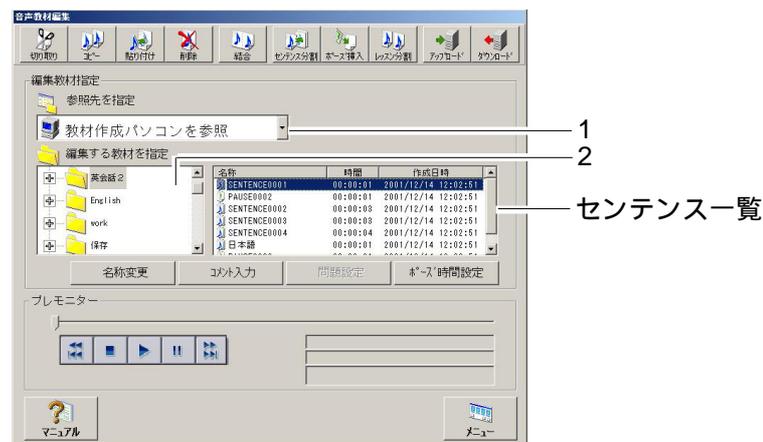
音声教材編集画面で、音声教材を選択します。

1. 編集する教材（教材作成パソコンを参照 / サーバーを参照）を指定します。
サーバーに接続されていない場合は、教材作成パソコンのみ選択可能です。
2. 編集する教材の参照先、教材名を指定します。
指定するフォルダーをクリックすると、フォルダー内のレッスン一覧が表示されます。
指定するレッスンをクリックすると、レッスン内のセンテンス一覧が表示されます。

● センテンス一覧には、次の内容が表示されます。

- ・ センテンス、ポーズ名称
- ・ センテンス、ポーズの時間
- ・ 作成日時

図 音声教材編集画面



[メニュー] ボタン

：メニュー選択画面に戻ります。

[マニュアル] ボタン

：操作マニュアルが表示されます。

∟注意∟

サーバー上の音声教材は、削除以外の編集を行うことはできません。

ダウンロードする

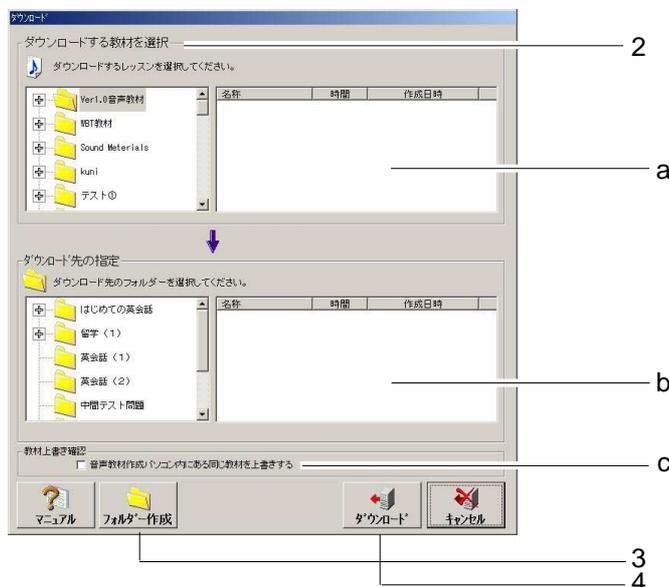
サーバーに既に登録されている音声教材を選択し、本ソフトを使用している教材作成パソコンにダウンロードします。ダウンロードした教材で編集作業が可能になります。

1. 音声教材編集画面で、[ダウンロード] ボタンを押します。
ダウンロード指定画面が表示されます。
2. ダウンロードする教材を選択します。
 - (a) サーバー内の教材一覧が表示されます。サーバー内の教材から、教材作成パソコンへ保存（ダウンロード）する音声教材（レッスン）を選択します。
 - (b) ダウンロード先である教材作成パソコン内のフォルダーが表示されます。教材作成パソコンのフォルダーを選択します。
 - (c) 既に教材作成パソコン内に同じ教材が保存されている場合に、上書きするかしないかを選択することができます。上書きする場合は、“音声教材作成パソコン内にある同じ教材を上書きする” をクリックして チェックを入れます。

図 音声教材編集画面

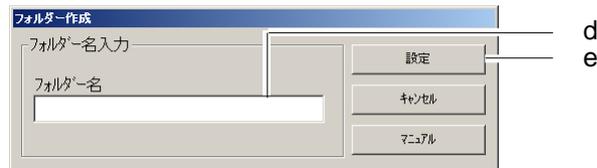


図 ダウンロード指定画面



3. 音声教材作成パソコン内に新規フォルダーを作成する場合は、[フォルダー作成] ボタンを押すと、作成できます。
フォルダー作成画面が表示されます。

図 フォルダー作成画面



- (d) 新規作成するフォルダー名を入力します。
文字数 : 全角10文字 (半角20文字) 以内
使用不可の文字 : ¥/./;*?"<> | & (半角)
(e) [設定] ボタンを押すと、設定されます。

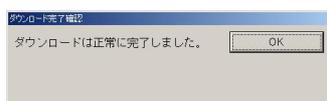
4. [ダウンロード] ボタンを押すと、ダウンロードを開始します。
ダウンロード中はコピー中画面が表示され、フォルダーを作成することはできません。

図 ダウンロード中画面



5. ダウンロード完了後に表示される、ダウンロード完了画面で [OK] ボタンを押します。

図 ダウンロード完了画面



[キャンセル] ボタン

: ダウンロードを中止し、音声教材編集画面に戻ります。

[マニュアル] ボタン

: 操作マニュアルが表示されます。

レッスンを分割する

音声教材編集画面で選択したレッスンを、2つに分割します。

1. 音声教材編集画面でレッスンを選択し、[レッスン分割] ボタンを押します。
レッスン分割画面が表示されます。
2. 選択したレッスンを確認します。
 - (a) 音声教材編集画面で選択された名称 (レッスン) が表示されます。
 - (b) 選択された音声教材の音声波形データが表示されます。表示される波形表示区間は「音声教材総時間/指定」のいずれかを切替選択できます。
 - (c) スライダーバーは、レッスンを選択した場合、右端を再生総時間、センテンスを選択した場合、センテンスの再生時間として、現在の再生地点を示します。
 - 音声教材再生時に操作すると、再生位置の割合がツールチップ内に数字で表示されます。
 - 初期動作が早くなる場合がありますが、他の動作への影響はありません。
 - (d) 再生開始からの経過時間 (時・分・秒・1/10秒) を表示します。

図 音声教材編集画面

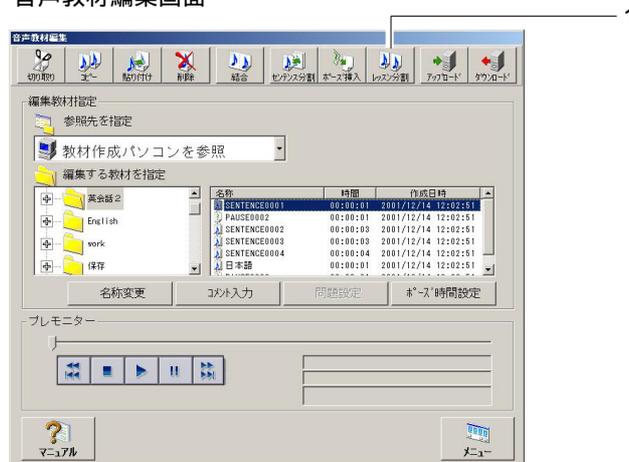
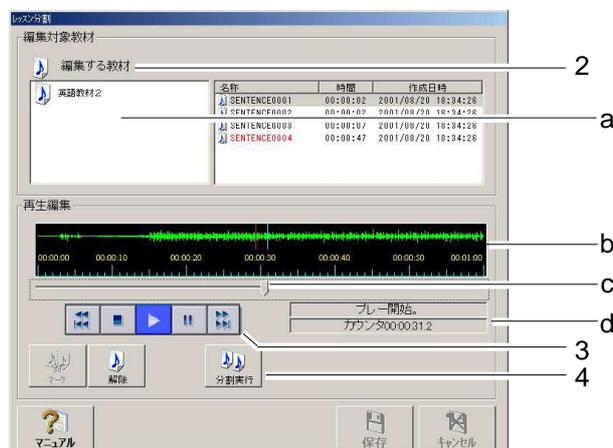


図 レッスン分割画面



3. 教材のモニターを行います。

[REW / SKIP BACK] ボタン 

: 短く (1秒以内) 押すと、現在再生中のセンテンス / ポーズの先頭に戻ります。
連続して押すと1つ前のセンテンス / ポーズの先頭に戻ります。1秒以上押し続けると巻き戻しが開始され、ボタンをはなすと再生します。レッスンを選択しているときは、1回押すたびに前のセンテンスの先頭にスキップします。

[STOP] ボタン 

: 再生、巻き戻し、早送りを停止します。

[PLAY] ボタン 

: 再生します。

[PAUSE] ボタン 

: 再生を一時停止します。

[FF / SKIP FORWARD] ボタン 

: 短く (1秒以内) 押すと、次のセンテンス / ポーズの先頭に戻ります。1秒以上押し続けると早送りが開始され、ボタンをはなすと再生します。レッスンを選択しているときは、1回押すたびに次のセンテンスの先頭にスキップします。

4. レッスンを分割します。

[マーク] ボタン

: 再生しながら、分割したい地点で押すと、分割地点がマークされます。

[解除] ボタン

: 分割地点が解除されます。

[分割実行] ボタン

: 音声教材編集画面で選択されたレッスンのレッスン分割が実行されます。

[キャンセル] ボタン

: 編集内容は保存されずに音声教材編集画面に戻ります。

[保存] ボタン

: 保存されます。

[マニュアル] ボタン

: 操作マニュアルが表示されます。

∟ レッスンを分割する場合のご注意 ∟

- センテンスに付加されたコメントは削除されます。
- レッスン分割を行う前に、すでに複数のセンテンスに分割されている場合、分割は解除されます。
- ポーズ挿入されたアナライザー教材は、レッスン分割することはできません。ポーズを削除してから行ってください。

センテンスを分割する

音声教材編集画面で選択したレッスンに対して、センテンス分割編集（再センテンス手動・自動分割 / センテンス分割解除）を行います。

1. 音声教材編集画面で、[センテンス分割] ボタンを押します。
 センテンス分割画面が表示されます。
2. 選択したレッスンを確認します。
 - (a) 音声教材編集画面で選択された名称（レッスン）が表示されます。
 - (b) 選択された音声教材の音声波形データが表示されます。表示される波形表示区間は「音声教材総時間 / 指定」のいずれかを切替選択できます。
 センテンス分割画面で分割を行った地点がマーク（赤いライン）で表示されます。
 - (c) スライダーバーは、レッスンを選択した場合、右端を再生総時間、センテンスを選択した場合、センテンスの再生時間として、現在の再生地点を示します。
 - 音声教材再生時に操作すると、再生位置の割合がツールチップ内に数字で表示されます。
 - 初期動作が早くなる場合がありますが、他の動作への影響はありません。
 - (d) 再生開始からの経過時間（時・分・秒・1/10秒）を表示します。

図 音声教材編集画面

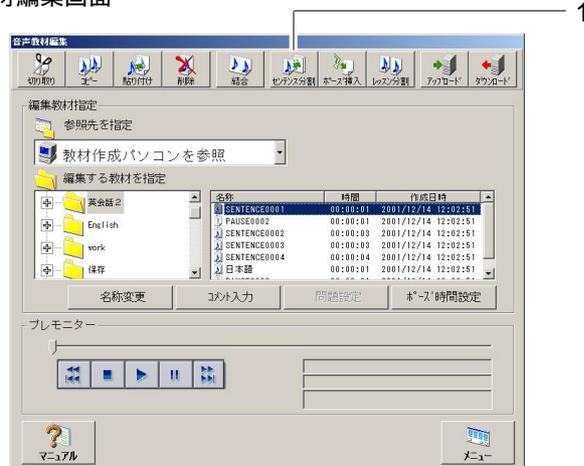
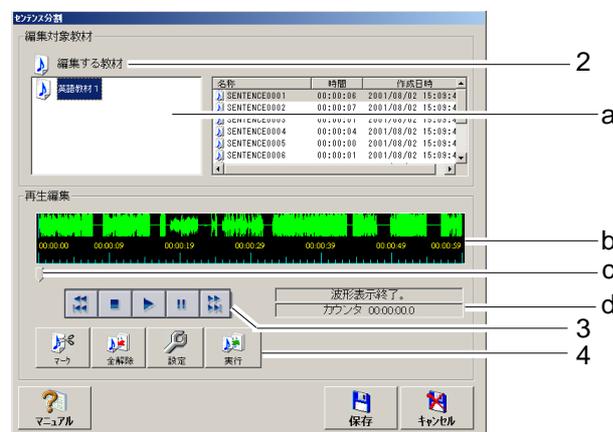


図 センテンス分割画面



3. 教材のモニターを行います。

[REW / SKIP BACK] ボタン 

: 短く（1秒以内）押すと、現在再生中のセンテンス / ポーズの先頭に戻ります。
 連続して押すと1つ前のセンテンス / ポーズの先頭に戻ります。1秒以上押し続けると巻き戻しが開始され、ボタンをはなすと再生します。レッスンを選択しているときは、1回押すたびに前のセンテンスの先頭にスキップします。

[STOP] ボタン 

: 再生、巻き戻し、早送りを停止します。

[PLAY] ボタン 

: 再生します。

[PAUSE] ボタン 

: 再生を一時停止します。

[FF / SKIP FORWARD] ボタン 

: 短く（1秒以内）押すと、次のセンテンス / ポーズの先頭に戻ります。1秒以上押し続けると早送りが開始され、ボタンをはなすと再生します。レッスンを選択しているときは、1回押すたびに次のセンテンスの先頭にスキップします。

4. センテンスを分割します。

[マーク] ボタン

: 「自動分割」に設定されている場合は、ボタン名が“自動分割”になります。
 「手動分割」の場合は、“マーク”になり、押すと分割ポイントを設定します。
 自動分割は停止中、手動分割は再生中のみとなります。

[全解除] ボタン

: 音声教材編集画面で選択されたレッスンのセンテンス分割が解除されます。

[設定] ボタン

: センテンス分割設定画面が表示されます。センテンス分割モードを設定します。

[実行] ボタン

: 編集内容が教材表示欄に表示されます。

[キャンセル] ボタン

: 編集内容は保存されずに音声教材編集画面に戻ります。

[保存] ボタン

: 保存されます。

[マニュアル] ボタン

: 操作マニュアルが表示されます。

≪ センテンスを分割する場合のご注意 ≫

自動センテンス分割、分割解除、コメントが付加されたセンテンスを手動センテンス分割した場合、コメントは削除されます。ポーズ挿入された教材は、センテンス分割することはできません。ポーズを削除してから行ってください。

波形表示時間を設定する

再生波形の表示時間を設定します。

1. センテンス分割画面・レッスン分割画面で、波形表示領域を右クリックします。
 波形表示設定画面が表示されます。
2. 選択する波形表示時間の をクリックして●チェックを入れ、指定します。
 - “音声教材総時間”選択した音声教材の総時間分の波形を表示します。
 - “指定”指定された時間内の波形を表示します。
3. [設定] ボタンを押すと、設定が反映されます。

図 レッスン分割画面

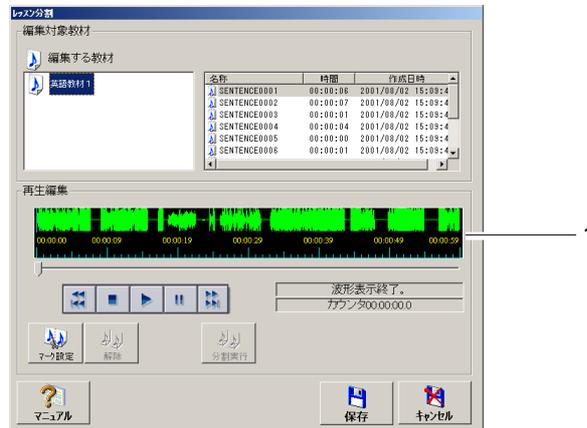


図 波形表示設定画面



[キャンセル] ボタン

: センテンス分割/レッスン分割画面に戻ります。

[マニュアル] ボタン

: 操作マニュアルが表示されます。

＼注意＼

波形表示設定画面内での“指定”では、9秒以下ならびにその音声教材総時間 + 1秒以上の時間を設定することはできません。

ポーズ時間を設定する

挿入するポーズ（無音）時間を設定します。ポーズは音声教材編集画面で選択したセンテンスの後に挿入されます。

挿入されるポーズ時間は、選択しているセンテンスの時間に対する倍数（1倍、1.5倍、2倍）、時間指定（1秒～9分59秒）のいずれかを選択することができます。

1. 音声教材編集画面で、[ポーズ時間設定] ボタンを押します。
ポーズ時間設定画面が表示されます。
2. 挿入するポーズ時間を選択します。
音声教材編集画面でセンテンスを選択して、[ポーズ挿入] ボタンを押した際に挿入されるポーズ時間の設定を行います。
挿入されたポーズに対して、時間を変更することはできません。
3. [設定] ボタンを押して、挿入するポーズ時間を設定します。

図 音声教材編集画面



図 ポーズ時間設定画面



[キャンセル] ボタン

：ポーズ時間設定をキャンセルし、音声教材編集画面に戻ります。

[マニュアル] ボタン

：操作マニュアルが表示されます。

＼注意＼

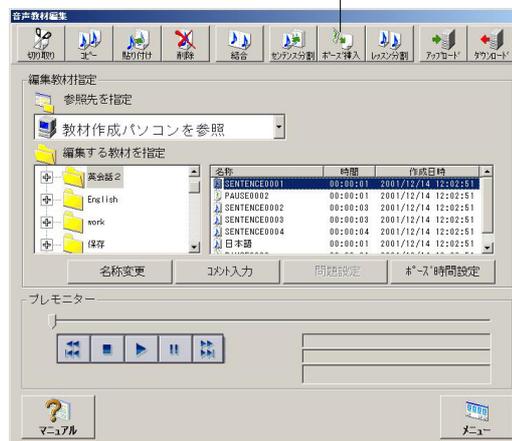
すでに設定されたポーズの長さは変更できません。

ポーズを挿入する

音声教材編集画面でポーズを挿入します。

1. 音声教材編集画面で、[ポーズ時間設定] ボタンを押します。
ポーズ時間設定画面が表示されます。
2. 挿入するポーズ時間を選択します。
(☞ 「ポーズ時間を設定する」)
3. ポーズを挿入したいセンテンスを選択し、[ポーズ挿入] ボタンを押します。
選択したセンテンスの後へ、設定されたポーズの長さが挿入されます。

図 音声教材編集画面 3



[ポーズ挿入] ボタン

: 選択したセンテンスの後に、ポーズ（無音）を挿入します。

[問題設定] ボタン

: 選択されたポーズに対して、問題の選択肢数（ボタン数）、正答番号を設定します。

[ポーズ時間設定] ボタン

: 挿入するポーズの時間を設定します。

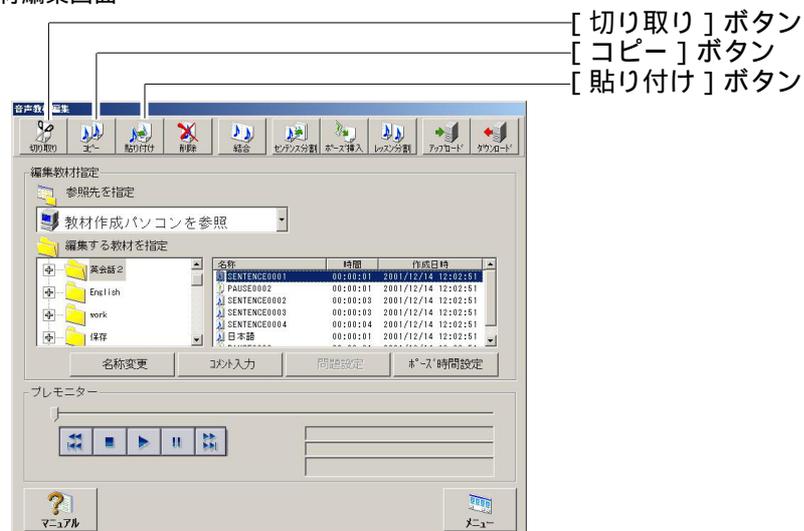
切り取り / コピー / 貼り付け / 削除 / 結合 する

音声教材作成パソコン内にあるレッスン、センテンス、ポーズの切り取り / コピー / 貼り付け / 削除 / 結合を行うことができます。フォルダー内にレッスンがない場合は、フォルダーの削除が可能です。

切り取り / コピー / 貼り付けのしかた

1. 音声教材編集画面で、対象となるレッスン、センテンス、ポーズを1つ選択して、[切り取り] ボタン / [コピー] ボタンを押します。

図 音声教材編集画面



2. 音声教材編集画面で、貼り付け先を選択して、[貼り付け] ボタンを押します。
レッスンを貼り付ける場合はフォルダーを選択し、センテンス・ポーズを貼り付ける場合はレッスン、センテンス、ポーズを選択すると、選択したセンテンス、ポーズの前に貼り付けられます。
センテンス・ポーズの最後の行に貼り付ける場合は、その行を選択すると確認画面が表示されます。前・後どちらに貼り付けるか選択してください。

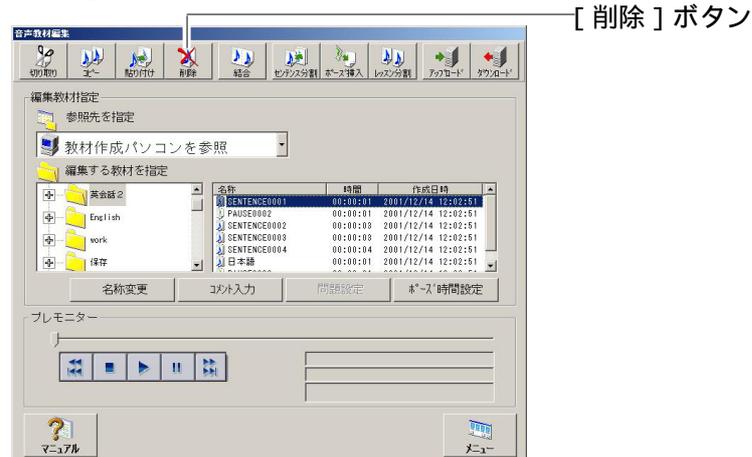
＼注意＼

同時に2つ以上の切り取り / コピーはできません。

削除のしかた

1. 音声教材編集画面で、対象となるフォルダー、レッスン、センテンス、ポーズを1つ選択します。

図 音声教材編集画面



2. [削除] ボタンを押します。
削除確認画面が表示されます。
削除する場合は、[OK] ボタンを押します。

図 削除確認画面



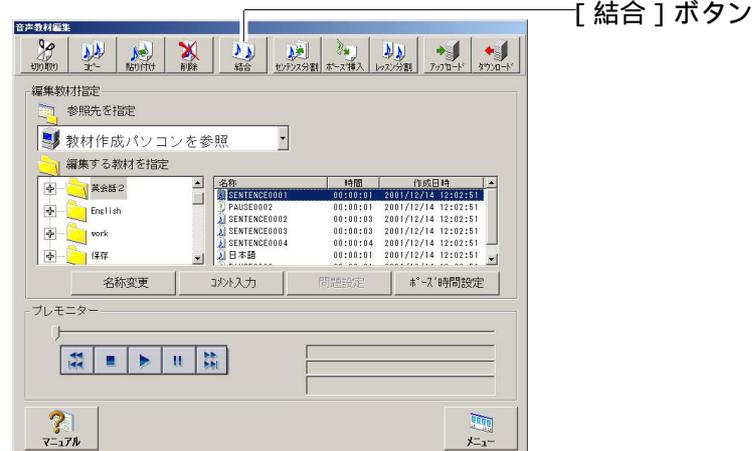
注意

- フォルダー内にレッスンまたはWBT型教材が存在する場合は、そのフォルダーを削除することはできません。
- 同時に2つ以上の削除はできません。2つ以上の教材を削除したり、音声教材 / WBT型教材をまとめて削除する場合は、トップメニューの [アップロード / ダウンロード] ボタンを押すと表示されるアップロード / ダウンロード画面から削除を行ってください。詳しくは「教材を削除する」(134ページ)をお読みください。

結合のしかた

1. 音声教材編集画面のレッスン、センテンス指定リストで、対象となるレッスン、またはセンテンス、ポーズを2つ選択します。
 選択する際は、キーボードの [Ctrl] キーを押しながらマウスで選択してください。

図 音声教材編集画面



2. [結合] ボタンを押します。
 結合確認画面が表示されます。
 結合する場合は、[OK] ボタンを押します。

図 結合確認画面



注意

- コメント付きのセンテンス同士を結合した場合、コメントは削除されます。
- 同時に3つ以上の結合はできません。
- センテンスにポーズを結合させる場合は、問題設定が無効になります。
- ポーズにセンテンスを結合させる場合は、問題設定は継承されます。
- ポーズ同士を結合する場合、先に選択したポーズの問題設定が継承されます。

[例] センテンス1を選択してからセンテンス2を選択した場合、センテンス2はセンテンス1の後ろに結合され、名称はセンテンス1になります。

名称変更する

音声教材編集画面で選択したフォルダー、レッスン、センテンス、ポーズの名称を変更します。サーバー内にあるフォルダー、レッスン、センテンス、ポーズの名称変更はできません。

1. 音声教材編集画面で対象となるフォルダー、レッスン、センテンス、ポーズを選択して、[名称変更] ボタンを押します。
 名称変更画面が表示されます。
2. 音声教材編集画面で選択された名称(フォルダー / レッスン / センテンス / ポーズ)が表示されます。
3. 変更したい名称を入力します。
 文字数：全角10文字(半角20文字)以内
 使用不可の文字：¥/.,,*?"<>|&(半角)

図 音声教材編集画面

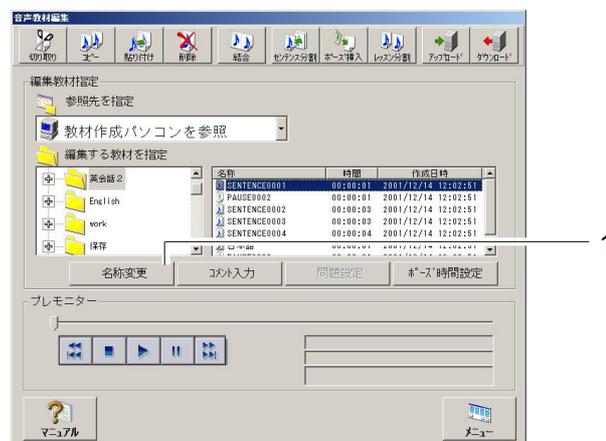


図 名称変更画面



4. [設定] ボタンを押して、入力された名称に設定します。

[キャンセル] ボタン

：名称変更をキャンセルし、音声教材編集画面に戻ります。

[マニュアル] ボタン

：操作マニュアルが表示されます。

＼注意＼

フォルダー内に教材がある場合、フォルダーの名称は変更できません。

コメントを入力する

音声教材編集画面で選択したセンテンスにコメントを入力します。
ただし、本ソフトで再生した場合、コメントは表示されません。

1. 音声教材編集画面でコメントを入力したいセンテンスを1つ選択し、[コメント入力] ボタンを押します。
コメント入力画面が表示されます。
2. 音声教材編集画面で選択された名称 (センテンス) が表示されます。
3. 登録するコメントを入力します。
コメント入力欄に全角500文字以内で入力します。表示領域は、全角25文字 × 20行です。
4. [設定] ボタンを押して、入力したコメントを設定します。

図 音声教材編集画面

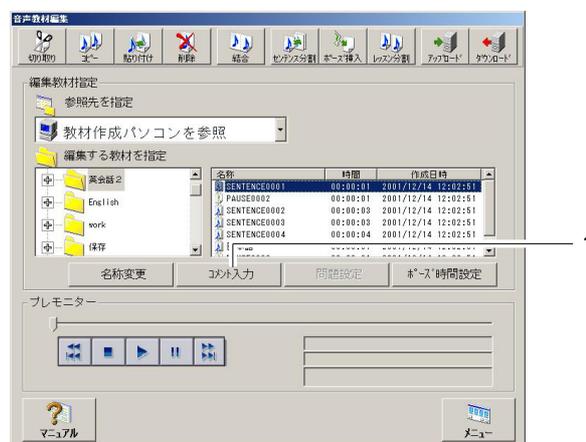


図 コメント入力画面



[キャンセル] ボタン

: コメント入力をキャンセルし、音声教材編集画面に戻ります。

[マニュアル] ボタン

: 操作マニュアルが表示されます。

[参照] ボタン

: ファイルを開く画面が表示されます。コメント入力欄に表示するテキストファイルを選択し、[開く] ボタンを押します。

選択可能なファイルは、テキスト (TXT) のみです。

選択したファイルの内容が全角500文字以内で入力されます。文字数が500文字を超過する場合、超過した文字は入力されません。

図 ファイルを開く画面



問題を設定する

選択したポーズに対して、問題を設定することができます。問題設定を行うと、アナライザー教材になります。

問題設定では、選択枝数 2~5 (ボタン数) 正答番号 (なし、1~5) を設定します。

1. 音声教材編集画面で [問題設定] ボタンを押します。
問題設定画面が表示されます。
2. ボタン数 (選択枝数) 正答番号を設定します。
音声教材編集画面で選択したポーズに対して、ボタン数 (選択枝数) 正答番号の設定を行います。
3. 連続して他のポーズにも問題を設定します。
[次のポーズへ] ボタン、[1つ前のポーズへ] ボタンを押すことにより、音声教材編集画面で選択したポーズの前のポーズ、次のポーズに対して、ボタン数 (選択枝数) 正答番号の設定内容を確認することができます。
4. [設定] ボタンを押して、問題を設定します。

図 音声教材編集画面

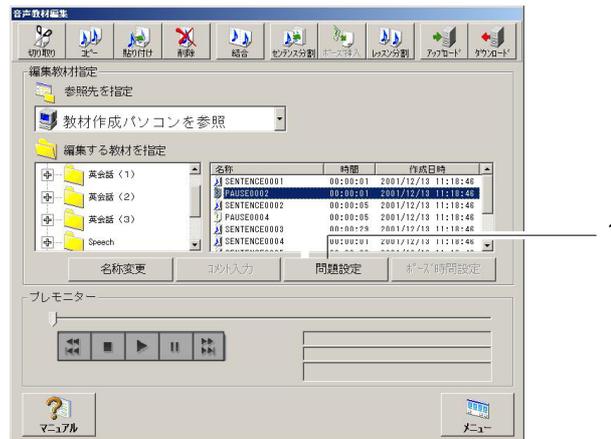


図 問題設定画面



[キャンセル] ボタン

: 問題設定をキャンセルし、音声教材編集画面に戻ります。

[問題削除] ボタン

: 音声教材編集画面で選択したポーズに対して、すでに設定されている問題を削除します。

[マニュアル] ボタン

: 操作マニュアルが表示されます。

アップロードする

教材作成パソコン内に作成した教材を、サーバーへ登録します。

1. 音声教材編集画面で、[アップロード] ボタンを押します。
アップロード指定画面が表示されます。
2. アップロードする教材を選択します。
 - (a) 教材作成パソコン内の教材一覧が表示されます。教材作成パソコン内の教材から、サーバーへ登録（アップロード）する音声教材（レッスン）を選択します。
 - (b) アップロード先であるサーバー内のフォルダーが表示されます。
サーバー内のフォルダーを選択します。
 - (c) 既にサーバー内に同じ教材が登録されている場合に、上書きするかどうかを選択することができます。上書きする場合は、“サーバー上にある同じ教材を上書きする”をクリックして チェックを入れます。

図 音声教材編集画面

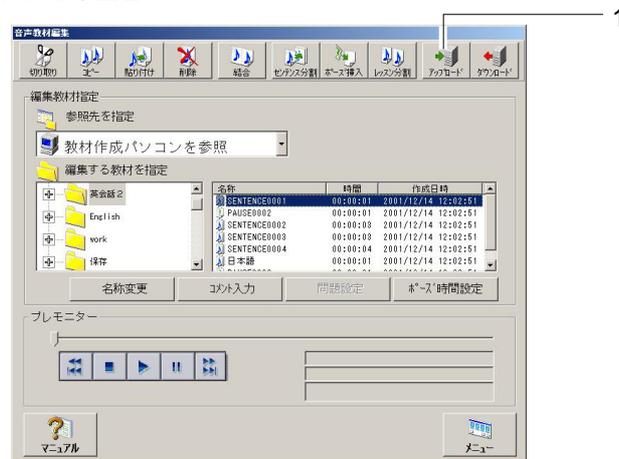
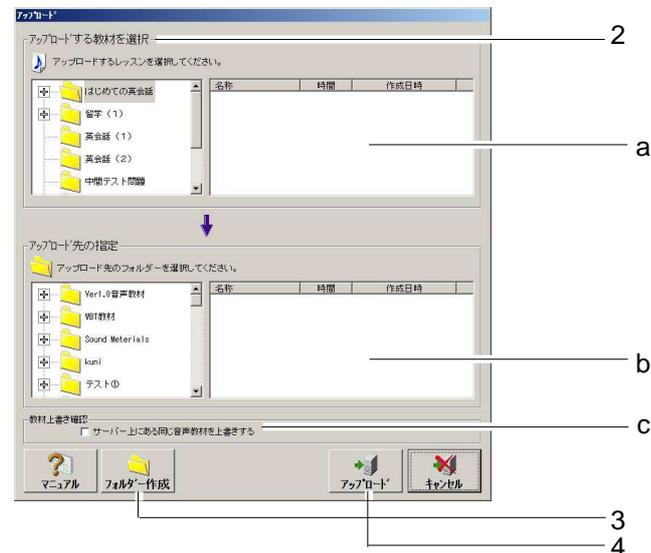


図 アップロード指定画面



3. サーバー内に新規フォルダーを作成する場合は、[フォルダー作成] ボタンを押すと、作成できます。
フォルダー作成画面が表示されます。

図 フォルダー作成画面



- (d) 新規作成するフォルダー名を入力します。
文字数 : 全角10文字 (半角20文字) 以内
使用不可の文字 : ¥/,:;*?"<> | & (半角)
(e) [設定] ボタンを押すと、設定されます。

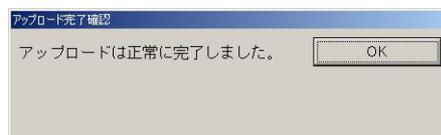
4. [アップロード] ボタンを押すと、アップロードを開始します。
アップロード中は、コピー中画面が表示されます。

図 アップロード中画面



5. アップロード完了後に表示される、アップロード完了画面で [OK] ボタンを押します。

図 アップロード完了画面



[キャンセル] ボタン

: アップロードを中止し、音声教材編集画面に戻ります。

[マニュアル] ボタン

: 操作マニュアルが表示されます。